

現恵迪寮（3代目）の改修のためのご寄附のお願い

趣意書（募金期限の1年間延長について）

（募金期限を当初の2019年9月30日から2020年9月30日へと1年間延長させていただくことといたしました）

学生寮である恵迪寮は北海道大学の学生募集や入寮者の人格形成の上でも重要な役割を果たしています。

その恵迪寮が、昭和58年4月に3代目の新々寮として、学生の寮生活の場としての用に供されてから36年が経過しました。その間、給排水衛生設備等の本格的な改修工事（＝原状回復＋新機能の付加）がなされておられません。

これら設備の法定耐用年数はおおむね15年です。その倍以上の期間（36年間）使用しているわけですから、いつ大規模な損壊を引き起こすかもしれないというリスクを抱えている状況にあります。

大規模な損壊を引き起こし恵迪寮が使用不能になった場合、明治40年恵迪寮として命名されてから112年（明治9年札幌農学校寄宿舎としてスタートしてから143年）経過する恵迪寮は、現下の文部科学省の考えから推測するに「廃寮」という最悪の事態も想定せざるを得ません。

恵迪寮同窓会としては、次のような改修工事が必要と考えています。

・屋上防水工事、・外壁工事、・鉄部塗装工事、・電気工事、・給排水工事、・衛生設備工事、・ガス設備工事等です。そしてすみやかに現恵迪寮が安心して使用できる状態にすべきだと考えています。

平成26年に大学側から恵迪寮の大規模修繕の話があり、その時の見積りでは放熱器取替工事費が145百万円、配管工事費が188百万円、合計333百万円であったようです。同窓会が考えている改修工事には、大学側の考えている工事に、屋上・外壁・鉄部塗装が追加されており、改修工事費はさらに増額になるものと考えています。

しかしながら、令和1年5月末現在の募金額は4,373千円と目標額40,000千円の1割強にとどまっています。恵迪寮を存続させるため募金期限を1年間延長し、引き続き同窓生の皆様からのご芳志を募らせていただくことといたしました。

何卒、趣旨にご賛同いただきまして、広く皆様方のご支援とご協力を賜りたく心からお願い申し上げます。

令和1年7月吉日

一般社団法人 恵迪寮同窓会 理事長 横山 清（昭和31年入寮）
（裏面に続きます）

【募金（寄附）概要】

（「募金」は寄附金を募ることであり、「寄附」はお金を拠出することで、表裏の関係にあります。お金を募る側から見ると募金であり、お金を出す側から見ると寄附ということになります）

1. 募金名称 恵迪寮大改修支援募金
2. 募金目的 恵迪寮の改修にあたり、改修資金の一部に充当するための資金調達
3. 募金目標額 40,000 千円
4. 募金期間 2018 年 8 月 1 日から **2020 年 9 月 30 日まで**（期限を 1 年間延長します）
5. 寄附対象者 個人、法人、団体
6. 寄附金額 一口 1 万円（何口でも可）。なお 1 万円未満のご寄附については、一般資金としての取り扱いになり、募金の目的である恵迪寮の改修資金に充当されないことになります。
7. 寄附方法 北海道大学の北大フロンティア基金へのご寄附は、同封の「払込取扱票（振込通知書）」、もしくは同基金のホームページ上の「クレジットカード決済もしくはコンビニ決済」により行うことができます。なお資金の使途を特定するために、払込取扱票の寄附目的欄のみらい投資に☑を付し、支援番号に「24」と記載のうえ、()内に「恵迪寮改修費」と記入してください。

【寄附者への謝意】

ご寄附をしていただいた方については、大学が行なう北大の銘板へのお名前の記載（ただし、20 万円以上の寄付をされた方）や北大の広報紙等へのお名前の記載とは別に、恵迪寮同窓会が独自にホームページ、Facebook ページ、その他の媒体にお名前の記載をさせていただきます。

なお、北大フロンティア基金の取り扱いにおいてご依頼人欄の「銘板を希望しない」、「広報誌等に氏名の公表を希望しない」に☑印を付している方については、同窓会の媒体でもお名前の記載をしないことを希望するものとして取り扱いさせていただきます。

また、寄附者への謝意を表するため、恵迪寮同窓会事務局は北大フロンティア基金室から寄附者の情報の提供を受け情報の共有化を図ってまいります。

以上

【本件に係る同封物】

- ・本趣意書（裏面を含む）
- ・北大みらい投資プログラム（パンフレット）
- ・払込取扱票（振込通知書）
- ・現恵迪寮改修のためのご寄附のお願い（表面）及び寄附お申し込み方法（裏面）